

Tokyo SkyTree
Photo by
Takahashi Mitsuko



日本法社会学会@成蹊大学
2022年05月21日(土) 9:30-12:30
ミニシンポジウム③

法的支援システムに基づく裁判は、
人々に受け容れられるか？
—— AI 支援による裁判と管轄の合意 ——



明治大学法学部
太田勝造 (OTA Shozo)
e-mail: sota@meiji.ac.jp

鳳凰図
(伊藤若冲)





0. 統一質問事項

0. 1. AI支援による紛争解決システムへの態度

(A) 便益

1. 一律の法的判断がなされ、裁判所や裁判官によるブレがなくなること
2. 科学的に正しい事実の認定がなされること
3. 社会常識にかなう妥当な法的判断がなされること
4. 嘘や不正確な証言・証拠の悪い影響がなくなること
5. 公正中立な裁判となること
6. 裁判にかかる費用が安くなること
7. 裁判にかかる時間が短くなること
8. 依頼した弁護士の能力の高低の影響を裁判が受けなくなること

1 . . . 2 . . . 3 . . . 4 . . . 5 . . . 6 . . . 7

非常に期待する

期待する

やや期待する

どちらとも
言えない

あまり
期待しない

期待しない

まったく
期待しない

鳳凰図
(伊藤若冲)



0. 統一質問事項

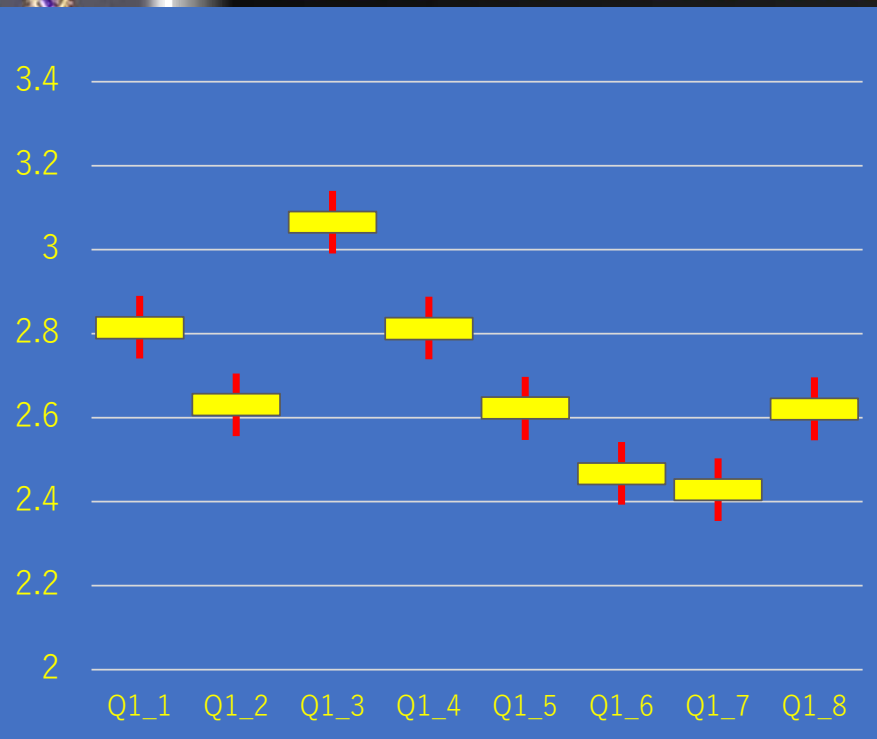
0. 1. AI支援による紛争解決システムへの態度

(A) 便益

1. 一律の法的判断がなされ、裁判所や裁判官によるブレがなくなること
2. 科学的に正しい事実の認定がなされること
3. 社会常識にかなう妥当な法的判断がなされること
4. 嘘や不正確な証言・証拠の悪い影響がなくなること
5. 公正中立な裁判となること
6. 裁判にかかる費用が安くなること
7. 裁判にかかる時間が短くなること
8. 依頼した弁護士の能力の高低の影響を裁判が受けなくなること

1.....2.....3.....4.....5.....6.....7
 非常に期待する 期待する やや期待する ちうとも言えない あまり期待しない 期待しない まったく期待しない

鳳凰図
(伊藤若冲)



node	mean	sd	MC error	2.50%	25.00%	median	75.00%	97.50%	start	sample
Q1.1	2.814	0.03803	3.86E-04	2.741	2.788	2.814	2.84	2.89	1001	10000
Q1.2	2.631	0.03811	3.85E-04	2.556	2.605	2.631	2.657	2.705	1001	10000
Q1.3	3.065	0.03798	3.89E-04	2.991	3.04	3.065	3.091	3.14	1001	10000
Q1.4	2.812	0.03797	3.64E-04	2.739	2.786	2.812	2.838	2.888	1001	10000
Q1.5	2.623	0.03841	3.68E-04	2.547	2.597	2.623	2.649	2.697	1001	10000
Q1.6	2.467	0.03813	3.83E-04	2.393	2.441	2.467	2.492	2.542	1001	10000
Q1.7	2.428	0.03781	3.99E-04	2.354	2.403	2.428	2.454	2.503	1001	10000
Q1.8	2.621	0.03837	4.00E-04	2.546	2.595	2.62	2.646	2.696	1001	10000

Tokyo SkyTree
Photo by
Takahashi Mitsuko



0. 統一質問事項

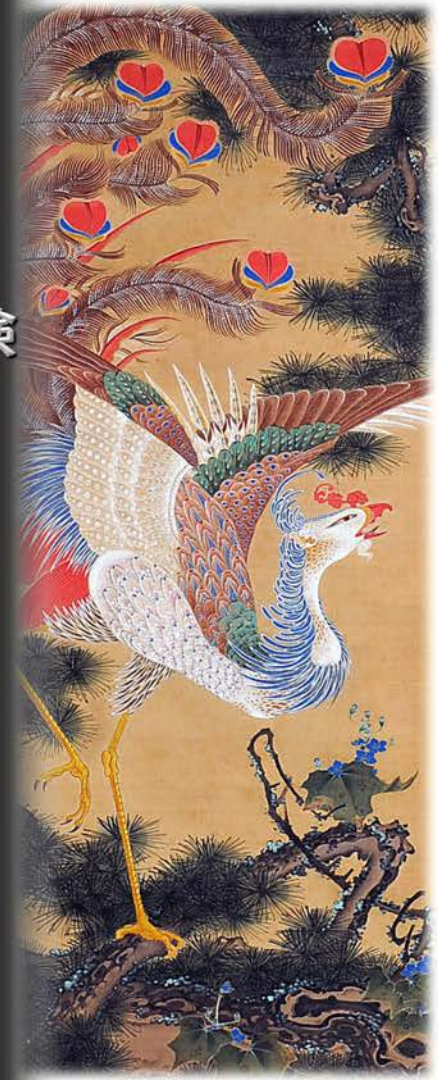
0. 1. AI支援による紛争解決システムへの態度 (B) リスク

1. AI裁判システムの不備による誤判が発生する危険
2. AI裁判システムが外部から違法に操作される危険
3. AI裁判システムに蓄積する個人情報情報が漏洩する危険
4. AI裁判システムを通じて個人が政府に管理される危険
5. 裁判に「人間味」がなくなる危険
6. 社会の変化に対応した裁判ができなくなる危険
7. 人々の価値観・倫理観の変化に対応した裁判ができなくなる危険
8. 事案の個別の事情に応じた判断ができなくなる危険

1 . . . 2 . . . 3 . . . 4 . . . 5 . . . 6 . . . 7

非常に心配である 心配である やや心配である どちらとも言えない あまり心配でない 心配でない まったく心配でない

鳳凰図
(伊藤若冲)



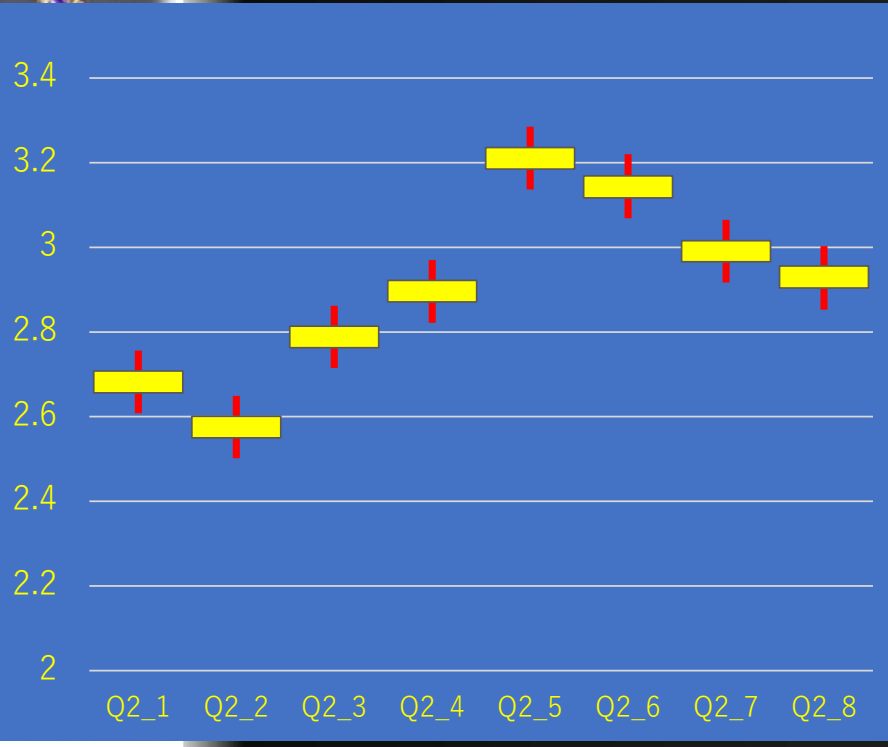
0. 統一質問事項

0. 1. AI支援による紛争解決システムへの態度

(B) リスク

- 1. AI裁判システムの不備による誤判が発生する危険
- 2. AI裁判システムが外部から違法に操作される危険
- 3. AI裁判システムに蓄積する個人情報情報が漏洩する危険
- 4. AI裁判システムを通じて個人が政府に管理される危険
- 5. 裁判に「人間味」がなくなる危険
- 6. 社会の変化に対応した裁判ができなくなる危険
- 7. 人々の価値観・倫理観の変化に対応した裁判ができなくなる危険
- 8. 事案の個別の事情に応じた判断ができなくなる危険

1 2 3 4 5 6 7
 非常に心配である 心配である やや心配である どちらとも言えない あまり心配でない 心配でない まったく心配でない



node	mean	sd	MC error	2.50%	25.00%	median	75.00%	97.50%	start	sample
Q2.1	2.682	0.03825	3.84E-04	2.608	2.656	2.682	2.708	2.756	1001	10000
Q2.2	2.576	0.03731	3.08E-04	2.502	2.55	2.576	2.601	2.649	1001	10000
Q2.3	2.789	0.03783	4.20E-04	2.715	2.763	2.789	2.814	2.862	1001	10000
Q2.4	2.896	0.0379	3.38E-04	2.822	2.871	2.897	2.922	2.97	1001	10000
Q2.5	3.211	0.03813	4.16E-04	3.137	3.185	3.211	3.236	3.285	1001	10000
Q2.6	3.143	0.03836	3.70E-04	3.069	3.117	3.143	3.169	3.22	1001	10000
Q2.7	2.991	0.03767	3.39E-04	2.917	2.966	2.991	3.016	3.065	1001	10000
Q2.8	2.93	0.0384	4.75E-04	2.853	2.904	2.93	2.956	3.003	1001	10000

Tokyo SkyTree
Photo by
Takahashi Mitsuko



研究課題：

裁判でのAI支援の有無 × 国内・国際取引での管轄合意

1. リサーチ・デザイン

0. 統一質問事項

0. 2. 法に対する態度

(A)法への信頼 (1) 私は裁判官は信頼できると思う

(2) 私は弁護士は信頼できると思う

(3) 私は警察官は信頼できると思う

(4) 私は日本の裁判制度は公正だと思う

(5) 私は日本の法制度は社会正義にかなっていると思う

1 . . . 2 . . . 3 . . . 4 . . . 5 . . . 6 . . . 7

非常に

そう思う

ややそう思う

どちらとも

あまり

そう思う

まったく

そう思う

言えない

そう思わない

そう思わない

鳳凰図
(伊藤若冲)



研究課題：裁判でのAI支援の有無 × 国内・国際取引での管轄合意

鳳凰図
(伊藤若冲)

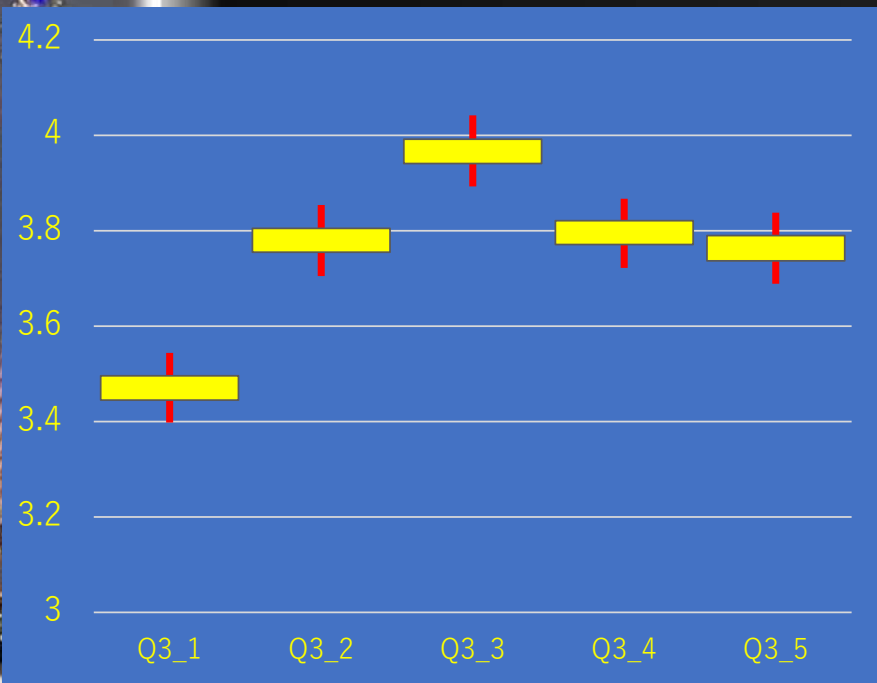
1. リサーチ・デザイン

0. 統一質問事項

0. 2. 法に対する態度 (A)法への信頼 Q3

- (1) 私は裁判官は信頼できると思う
- (2) 私は弁護士は信頼できると思う
- (3) 私は警察官は信頼できると思う
- (4) 私は日本の裁判制度は公正だと思う
- (5) 私は日本の法制度は社会正義にかなっていると思う

1 2 3 4 5 6 7
非常にそう思う そう思う ややそう思う どちらとも言えない あまりそう思わない そう思わない まったくそう思わない



node	mean	sd	MC error	2.50%	25.00%	median	75.00%	97.50%	start	sample
Q3.1	3.471	0.03754	3.02E-04	3.398	3.445	3.471	3.496	3.544	1001	10000
Q3.2	3.78	0.03771	3.88E-04	3.705	3.755	3.78	3.805	3.854	1001	10000
Q3.3	3.967	0.03795	3.69E-04	3.893	3.941	3.966	3.992	4.042	1001	10000
Q3.4	3.796	0.03736	4.01E-04	3.722	3.771	3.796	3.821	3.867	1001	10000
Q3.5	3.763	0.03823	3.62E-04	3.689	3.737	3.763	3.79	3.838	1001	10000



Tokyo SkyTree
Photo by
Takahashi Mitsuko



研究課題：裁判でのAI支援の有無 × 国内・国際取引 × 合意管轄地

鳳凰図
(伊藤若冲)

1. リサーチ・デザイン

国内		合意管轄地		
		甲社所在地 東日本	中立地 中部地方	乙社所在地 西日本
AI	AIあり	200 Data	200 Data	200 Data
	AIなし	200 Data	200 Data	200 Data

国際		合意管轄地		
		甲社所在地 北半球	中立地 両国中間	乙社所在地 南半球
AI	AIあり	200 Data	200 Data	200 Data
	AIなし	200 Data	200 Data	200 Data



研究課題：裁判でのAI支援の有無 × 国内・国際取引 × 合意管轄地

鳳凰図
(伊藤若冲)

1. リサーチ・デザイン

1. 裁判の説明

【①裁判】紛争事件は、大きく民事事件と刑事事件の二つに分けることができ、民事事件に対応する裁判が民事裁判、刑事事件に対応する裁判が刑事裁判です。

裁判とは、裁判所が、法律を用いて、紛争を最終的に解決する手続きのことです。

裁判は公開の法廷で進められます。

民事裁判では、予め当事者間で「管轄の合意」をしておいて、紛争になったときにどの裁判所で審理してもらうか取り決めることができます。国民には裁判を受ける権利があり、裁判所が下した判決に納得できないときは、上級の裁判所に訴えることによって、1つの事件について、原則として3回まで裁判を受けることができます。

民事裁判では、当事者が主張する事実が本当に存在するのかどうかについて、提出された証拠に基づいて裁判官による事実認定がなされ、法律を当てはめてトラブルを解決するための判決が下されます。

判決に相手が従わない場合は、相手に対して裁判所の強制執行をすることができます。



研究課題：裁判でのAI支援の有無 × 国内・国際取引 × 合意管轄地

鳳凰図
(伊藤若冲)

1. リサーチ・デザイン

1. 裁判の説明

[裁判理解の確認質問] ⇒ フィルタリング

裁判についての以下の説明文の中のA~Fで、間違っているものはどれかお答えください。

- A. 裁判は公開の法廷で進められます。
- B. 1つの事件について、原則として3回まで裁判を受けることができます。
- C. 民事裁判とは、人と人との紛争を解決するための裁判手続きです。
- D. 民事裁判では、証拠に基づいて裁判官による事実認定がなされ、法律を当てはめて判決が下されます。
- E. 民事裁判では審理する裁判所が法律で決まっているので、管轄合意を当事者間で結んで、裁判所を予め選んでおくことはできません。
- F. 判決に相手が行わない場合は、相手に対して強制執行をすることができます。
- G. 国民には裁判を受ける権利があります。
- H. 紛争事件は、大きく民事事件と刑事事件の二つに分けることができます。

⇒ 3回繰り返しても正解できない回答者ははじく。



研究課題：裁判でのA | 支援の有無 × 国内・国際取引 × 合意管轄地

鳳凰図
(伊藤若冲)

1. リサーチ・デザイン

1. 国内紛争, A | 支援無し, 中間裁判地

【国内紛争】東日本のA県の甲株式会社と西日本のB県の乙株式会社は、**契約**を結んで商取引をすることにしました。

【【中間裁判所】この契約締結の際に管轄合意を結んで、この取引でトラブルが発生した場合には、中部地方のC県の裁判所で審理してもらうことにしました。】

質問 管轄合意 [甲に有利だ ⇄ 乙に有利だ]

質問 甲 [合理的だ, 公正だ]

質問 乙 [合理的だ, 公正だ]

その後、残念にも、この商取引で本当にトラブルが発生してしまい、お互いの主張がすれ違って、話し合っても解決できません。

そこで、甲株式会社は【C県の裁判所で裁判】を起こしました。

質問 甲 [合理的だ, 公正だ]

それに対して、乙株式会社は徹底抗戦の構えです。

質問 乙 [合理的だ, 公正だ]

甲株式会社と乙株式会社は、最終的には譲歩しあって和解合意をして紛争を解決しました。

質問 甲 [合理的だ, 公正だ], 質問 乙 [合理的だ, 公正だ]



研究課題：裁判でのAI支援の有無 × 国内・国際取引 × 合意管轄地

1. リサーチ・デザイン

2. 国内紛争，AI支援有り，中間裁判地

東日本のA県の甲株式会社と西日本のB県の乙株式会社は，契約を結んで商取引をすることにしました。

[[AI中立裁判所] この契約締結の際に管轄合意を結んで，この取引でトラブルが発生した場合には，高度の人工知能（AI）による裁判支援システムを特別に導入している中部地方のC県の裁判所で審理してもらうことにしました。このAI裁判支援システムは，事実認定，法的判断，法的推論による判決作成の全てにわたって，裁判官に対して高度の支援をするシステムです。]

質問 管轄合意 [甲に有利だ ⇄ 乙に有利だ]

質問 甲 [合理的だ，公正だ]

質問 乙 [合理的だ，公正だ]

その後，残念にも，この商取引で本当にトラブルが発生してしまい，お互いの主張がすれ違って，話し合っても解決できません。

そこで，甲株式会社は [C県の裁判所で裁判] を起こしました。

質問 甲 [合理的だ，公正だ]

それに対して，乙株式会社は徹底抗戦の構えです。

質問 乙 [合理的だ，公正だ]

甲株式会社と乙株式会社は，最終的には譲歩しあって和解合意をして紛争を解決しました。 質問 甲 [合理的だ，公正だ]， 質問 乙 [合理的だ，公正だ]



研究課題：裁判でのA | 支援の有無 × 国内・国際取引 × 合意管轄地

1. リサーチ・デザイン

3. 国内紛争, A | 支援無し, 甲社所在裁判地

【国内紛争】東日本のA県の甲株式会社と西日本のB県の乙株式会社は、**契約**を結んで商取引をすることにしました。

【A県通常裁判所】この契約締結の際に管轄合意を結んで、この取引でトラブルが発生した場合には、甲株式会社の所在するA県の裁判所で審理してもらうことにしました。】

質問 管轄合意 [甲に有利だ ⇔ 乙に有利だ]

質問 甲 [合理的だ, 公正だ]

質問 乙 [合理的だ, 公正だ]

その後、残念にも、この商取引で本当にトラブルが発生してしまい、お互いの主張がすれ違って、話し合っても解決できません。

そこで、甲株式会社は【**自社の所在するA県の裁判所で裁判**】を起こしました。

質問 甲 [合理的だ, 公正だ]

それに対して、乙株式会社は徹底抗戦の構えです。

質問 乙 [合理的だ, 公正だ]

甲株式会社と乙株式会社は、最終的には譲歩しあって和解合意をして紛争を解決しました。

質問 甲 [合理的だ, 公正だ], 質問 乙 [合理的だ, 公正だ]

鳳凰図
(伊藤若冲)



研究課題：裁判でのAI支援の有無 × 国内・国際取引 × 合意管轄地

1. リサーチ・デザイン

4. 国内紛争, AI支援有り, 甲社所在裁判地

〔国内紛争〕東日本のA県の甲株式会社と西日本のB県の乙株式会社は、契約を結んで商取引をすることにしました。

〔A県AI裁判所〕この契約締結の際に管轄合意を結んで、この取引でトラブルが発生した場合には、甲株式会社の所在するA県の、高度の人工知能(AI)による裁判支援システムを特別に導入している裁判所で審理してもらうことにしました。このAI裁判支援システムは、事実認定、法的判断、法的推論による判決作成の全てにわたって、裁判官に対して高度の支援をするシステムです。】

質問 管轄合意 [甲に有利だ ↔ 乙に有利だ]

質問 甲 [合理的だ, 公正だ]

質問 乙 [合理的だ, 公正だ]

その後、残念にも、この商取引で本当にトラブルが発生してしまい、お互いの主張がすれ違って、話し合っても解決できません。

そこで、甲株式会社は〔自社の所在するA県の裁判所で裁判〕を起こしました。

質問 甲 [合理的だ, 公正だ]

それに対して、乙株式会社は徹底抗戦の構えです。

質問 乙 [合理的だ, 公正だ]

甲株式会社と乙株式会社は、最終的には譲歩しあって和解合意をして紛争を解決しました。

質問 甲 [合理的だ, 公正だ], 質問 乙 [合理的だ, 公正だ]





研究課題：裁判でのA | 支援の有無 × 国内・国際取引 × 合意管轄地

1. リサーチ・デザイン

5. 国内紛争, A | 支援無し, 乙社所在裁判地

【国内紛争】東日本のA県の甲株式会社と西日本のB県の乙株式会社は、**契約を結んで商取引をすることにしました。**

【**B県通常裁判所**】この契約締結の際に管轄合意を結んで、この取引でトラブルが発生した場合には、乙株式会社の所在するB県の裁判所で審理してもらうことにしました。】

質問 管轄合意【甲に有利だ⇔乙に有利だ】

質問 甲【合理的だ, 公正だ】

質問 乙【合理的だ, 公正だ】

その後、残念にも、この商取引で本当にトラブルが発生してしまい、お互いの主張がすれ違って、話し合っても解決できません。

そこで、甲株式会社は【**乙株式会社の所在するB県の裁判所で裁判**】を起こしました。

質問 甲【合理的だ, 公正だ】

それに対して、乙株式会社は徹底抗戦の構えです。

質問 乙【合理的だ, 公正だ】

甲株式会社と乙株式会社は、最終的には譲歩しあって和解合意をして紛争を解決しました。

質問 甲【合理的だ, 公正だ】、質問 乙【合理的だ, 公正だ】

鳳凰図
(伊藤若冲)



研究課題：裁判でのAI支援の有無 × 国内・国際取引 × 合意管轄地

1. リサーチ・デザイン

6. 国内紛争，AI支援有り，乙社所在裁判地

【国内紛争】東日本のA県の甲株式会社と西日本のB県の乙株式会社は、契約を結んで商取引をすることにしました。

【⑥【A県AI裁判所】この契約締結の際に管轄合意を結んで、この取引でトラブルが発生した場合には、甲株式会社の所在するB県の、高度の人工知能（AI）による裁判支援システムを特別に導入している裁判所で審理してもらうことにしました。このAI裁判支援システムは、事実認定、法的判断、法的推論による判決作成の全てにわたって、裁判官に対して高度の支援をするシステムです。】

質問 管轄合意【甲に有利だ ↔ 乙に有利だ】

質問 甲【合理的だ、公正だ】

質問 乙【合理的だ、公正だ】

その後、残念にも、この商取引で本当にトラブルが発生してしまい、お互いの主張がすれ違って、話し合っても解決できません。

そこで、甲株式会社は【乙株式会社の所在するB県の裁判所で裁判】を起こしました。

質問 甲【合理的だ、公正だ】

それに対して、乙株式会社は徹底抗戦の構えです。

質問 乙【合理的だ、公正だ】

甲株式会社と乙株式会社は、最終的には譲歩しあって和解合意をして紛争を解決しました。

質問 甲【合理的だ、公正だ】， 質問 乙【合理的だ、公正だ】



研究課題：裁判でのA | 支援の有無 × 国内・国際取引 × 合意管轄地

1. リサーチ・デザイン

7. 渉外紛争, A | 支援無し, 中間国裁判地

【国際紛争C国】北半球のA国の甲株式会社と南半球のB国の乙株式会社は、契約を結んで国際商取引をすることにしました。

【C国通常裁判所：この契約締結の際に管轄合意を結んで、この取引でトラブルが発生した場合には、両国の中間に位置するC国の裁判所で審理してもらうことにしました。】

質問 管轄合意 [甲に有利だ ⇔ 乙に有利だ]

質問 甲 [合理的だ, 公正だ]

質問 乙 [合理的だ, 公正だ]

残念にも、この国際商取引で本当にトラブルが発生してしまい、お互いの主張がすれ違って、話し合っても解決できません。

そこで、甲株式会社は【C国の裁判所で裁判】を起こしました。

質問 甲 [合理的だ, 公正だ]

それに対して、B国の乙株式会社は徹底抗戦の構えです。

質問 乙 [合理的だ, 公正だ]

甲株式会社と乙株式会社は、最終的には譲歩しあって和解合意をして紛争を解決しました。

質問 甲 [合理的だ, 公正だ], 質問 乙 [合理的だ, 公正だ]

鳳凰図
(伊藤若冲)





研究課題：裁判でのAI支援の有無 × 国内・国際取引 × 合意管轄地

1. リサーチ・デザイン

2. 涉外紛争，AI支援有り，中間国裁判地

【国際紛争C国】北半球のA国の甲株式会社と南半球のB国の乙株式会社は、契約を結んで国際商取引をすることにしました。

【C国通常裁判所：この契約締結の際に管轄合意を結んで、この取引でトラブルが発生した場合には、高度の人工知能（AI）による裁判支援システムを特別に導入している、両国の中間に位置するC国の裁判所で審理してもらうことにしました。このAI裁判支援システムは、事実認定、法的判断、法的推論による判決作成の全てにわたって、裁判官に対して高度の支援をするシステムです。】

質問 管轄合意【甲に有利だ⇔乙に有利だ】

質問 甲【合理的だ、公正だ】

質問 乙【合理的だ、公正だ】

残念にも、この国際商取引で本当にトラブルが発生してしまい、お互いの主張がずれ違って、話し合っても解決できません。

そこで、甲株式会社は【C国の裁判所で裁判】を起こしました。

質問 甲【合理的だ、公正だ】

それに対して、B国の乙株式会社は徹底抗戦の構えです。

質問 乙【合理的だ、公正だ】

甲株式会社と乙株式会社は、最終的には譲歩しあって和解合意をして紛争を解決しました。質問 甲【合理的だ、公正だ】， 質問 乙【合理的だ、公正だ】



研究課題：裁判でのA | 支援の有無 × 国内・国際取引 × 合意管轄地

1. リサーチ・デザイン

3. 渉外紛争, A | 支援無し, 甲社所在国裁判地

【国際紛争A国】北半球のA国の甲株式会社と南半球のB国の乙株式会社は、契約を結んで国際商取引をすることにしました。

【A国通常裁判所：この契約締結の際に管轄合意を結んで、この取引でトラブルが発生した場合には、甲株式会社の所在するA国の裁判所で審理してもらうことにしました。】

質問 管轄合意 [甲に有利だ ⇔ 乙に有利だ]

質問 甲 [合理的だ, 公正だ]

質問 乙 [合理的だ, 公正だ]

残念にも、この国際商取引で本当にトラブルが発生してしまい、お互いの主張がすれ違って、話し合っても解決できません。

そこで、甲株式会社は【自社の存在するA国の裁判所で裁判】を起こしました。

質問 甲 [合理的だ, 公正だ]

それに対して、B国の乙株式会社は徹底抗戦の構えです。

質問 乙 [合理的だ, 公正だ]

甲株式会社と乙株式会社は、最終的には譲歩しあって和解合意をして紛争を解決しました。

質問 甲 [合理的だ, 公正だ], 質問 乙 [合理的だ, 公正だ]

鳳凰図
(伊藤若冲)



研究課題：裁判でのAI支援の有無 × 国内・国際取引 × 合意管轄地

1. リサーチ・デザイン

4. 涉外紛争, AI支援有り, 甲社所在国裁判地

【国際紛争A国】北半球のA国の甲株式会社と南半球のB国の乙株式会社は、契約を結んで国際商取引をすることにしました。

【A国通常裁判所：この契約締結の際に管轄合意を結んで、この取引でトラブルが発生した場合には、甲株式会社の所在するA国の、高度の人工知能（AI）による裁判支援システムを特別に導入している裁判所で審理してもらうことにしました。このAI裁判支援システムは、事実認定、法的判断、法的推論による判決作成の全てにわたって、裁判官に対して高度の支援をするシステムです。】

質問 管轄合意【甲に有利だ ↔ 乙に有利だ】

質問 甲【合理的だ、公正だ】

質問 乙【合理的だ、公正だ】

残念にも、この国際商取引で本当にトラブルが発生してしまい、お互いの主張がすれ違って、話し合っても解決できません。

そこで、甲株式会社は【自社の存在するA国の裁判所で裁判】を起こしました。

質問 甲【合理的だ、公正だ】

それに対して、B国の乙株式会社は徹底抗戦の構えです。

質問 乙【合理的だ、公正だ】

甲株式会社と乙株式会社は、最終的には譲歩しあって和解合意をして紛争を解決しました。 質問 甲【合理的だ、公正だ】、質問 乙【合理的だ、公正だ】





研究課題：裁判でのA | 支援の有無 × 国内・国際取引 × 合意管轄地

1. リサーチ・デザイン

5. 渉外紛争, A | 支援無し, 乙社所在国裁判地

【国際紛争B国】北半球のA国の甲株式会社と南半球のB国の乙株式会社は、契約を結んで国際商取引をすることにしました。

【B国通常裁判所：この契約締結の際に管轄合意を結んで、この取引でトラブルが発生した場合には、乙株式会社の所在するB国の裁判所で審理してもらうことにしました。】

質問 管轄合意 [甲に有利だ ⇔ 乙に有利だ]

質問 甲 [合理的だ, 公正だ]

質問 乙 [合理的だ, 公正だ]

残念にも、この国際商取引で本当にトラブルが発生してしまい、お互いの主張がすれ違って、話し合っても解決できません。

そこで、甲株式会社は【乙株式会社の存在するB国の裁判所で裁判】を起こしました。

質問 甲 [合理的だ, 公正だ]

それに対して、B国の乙株式会社は徹底抗戦の構えです。

質問 乙 [合理的だ, 公正だ]

甲株式会社と乙株式会社は、最終的には譲歩しあって和解合意をして紛争を解決しました。

質問 甲 [合理的だ, 公正だ], 質問 乙 [合理的だ, 公正だ]

鳳凰図
(伊藤若冲)



研究課題：裁判でのAI支援の有無 × 国内・国際取引 × 合意管轄地

1. リサーチ・デザイン

6. 渉外紛争，AI支援有り，乙社所在国裁判地

【国際紛争A国】北半球のA国の甲株式会社と南半球のB国の乙株式会社は、契約を結んで国際商取引をすることにしました。

【⑥A国通常裁判所：この契約締結の際に管轄合意を結んで、この取引でトラブルが発生した場合には、甲株式会社の所在するA国の、高度の人工知能（AI）による裁判支援システムを特別に導入している裁判所で審理してもらうことにしました。このAI裁判支援システムは、事実認定、法的判断、法的推論による判決作成の全てにわたって、裁判官に対して高度の支援をするシステムです。】

質問 管轄合意【甲に有利だ⇔乙に有利だ】

質問 甲【合理的だ、公正だ】

質問 乙【合理的だ、公正だ】

残念にも、この国際商取引で本当にトラブルが発生してしまい、お互いの主張がすれ違って、話し合っても解決できません。

そこで、甲株式会社は【乙株式会社の存在するB国の裁判所で裁判】を起こしました。

質問 甲【合理的だ、公正だ】

それに対して、B国の乙株式会社は徹底抗戦の構えです。

質問 乙【合理的だ、公正だ】

甲株式会社と乙株式会社は、最終的には譲歩しあって和解合意をして紛争を解決しました。 質問 甲【合理的だ、公正だ】， 質問 乙【合理的だ、公正だ】



Tokyo SkyTree
Photo by
Takahashi Mitsuko



鳳凰図
(伊藤若冲)



研究課題：裁判でのA I 支援の有無 × 国内・国際取引×合意管轄地

1. リサーチ・デザイン

※ 質問回答リカート尺度
質問尺度質問

質問 管轄合意 [甲に有利だ⇔乙に有利だ]

- 1 . . . 2 . . . 3 . . . 4 . . . 5 . . . 6 . . . 7
- 甲に非常に有利だ 甲に有利だ やや甲に有利だ どちらとも言えない やや乙に有利だ 乙に有利だ 乙に非常に有利だ

Tokyo SkyTree
Photo by
Takahashi Mitsuko

研究課題：裁判でのAI支援の有無 × 国内・国際取引 × 合意管轄地

2. 分析結果：質問 管轄合意【甲に有利だ ⇔ 乙に有利だ】

鳳凰図
(伊藤若冲)

1 2 3 4 5 6 7
甲に非常に有利だ 甲に有利だ やや甲に有利だ どちらとも言えない やや乙に有利だ 乙に有利だ 乙に非常に有利だ



記述統計					
従属変数:					
VER1 国内or涉外		平均値	標準偏差	度数	
国内	中間地	AIなし	3.97	0.540	100
		AIあり	4.01	0.522	100
		総和	3.99	0.530	200
	X社所在地	AIなし	3.22	0.991	100
		AIあり	3.49	0.916	100
		総和	3.36	0.961	200
	Y社所在地	AIなし	4.69	0.895	100
		AIあり	4.41	0.911	100
		総和	4.55	0.912	200
	総和	AIなし	3.96	1.024	300
		AIあり	3.97	0.886	300
		総和	3.97	0.957	600
涉外	中間地	AIなし	3.96	0.530	100
		AIあり	3.98	0.471	100
		総和	3.97	0.500	200
	X社所在地	AIなし	2.50	1.078	100
		AIあり	2.83	1.146	100
		総和	2.67	1.122	200
	Y社所在地	AIなし	5.31	1.070	100
		AIあり	4.56	1.122	100
		総和	4.94	1.156	200
	総和	AIなし	3.92	1.476	300
		AIあり	3.79	1.202	300
		総和	3.86	1.346	600

記述統計					
従属変数:					
VER1 国内or涉外		平均値	標準偏差	度数	
総和	中間地	AIなし	3.97	0.534	200
		AIあり	4.00	0.496	200
		総和	3.98	0.515	400
	X社所在地	AIなし	2.86	1.094	200
		AIあり	3.16	1.086	200
		総和	3.01	1.099	400
	Y社所在地	AIなし	5.00	1.032	200
		AIあり	4.49	1.022	200
		総和	4.74	1.058	400
	総和	AIなし	3.94	1.269	600
		AIあり	3.88	1.059	600
		総和	3.91	1.169	1200

Tokyo SkyTree
Photo by
Takahashi Mitsuko



研究課題：裁判でのA I 支援の有無 × 国内・国際取引 × 合意管轄地

2. 分析結果：質問 管轄合意 [甲に有利だ ⇔ 乙に有利だ]

鳳凰図
(伊藤若冲)

1 2 3 4 5 6 7
 甲に非常に有利だ 甲に有利だ やや甲に有利だ どちらとも言えない やや乙に有利だ 乙に有利だ 乙に非常に有利だ

被験者間効果の検定					
従属変数:					
ソース	タイプ III 平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
修正モデル	706.889 ^a	11	64.263	82.040	0.000
切片	18353.541	1	18353.541	23430.807	0.000
VER1	3.521	1	3.521	4.495	0.034
VER2	603.182	2	301.591	385.022	0.000
VER3	1.141	1	1.141	1.456	0.228
VER1 *	58.952	2	29.476	37.630	0.000
VER2					
VER1 *	1.541	1	1.541	1.967	0.161
VER3					
VER2 *	34.472	2	17.236	22.004	0.000
VER3					
VER1 *	4.082	2	2.041	2.605	0.074
VER2 *					
VER3					
誤差	930.570	1188	0.783		
総和	19991.000	1200			
修正総和	1637.459	1199			

a. R2 乗 = .432 (調整済み R2 乗 = .426)

↑ 帰無仮説有意性検定
 ↓ ベイズ推定：MCMC 10,000



Tokyo SkyTree
Photo by
Takahashi Mitsuko

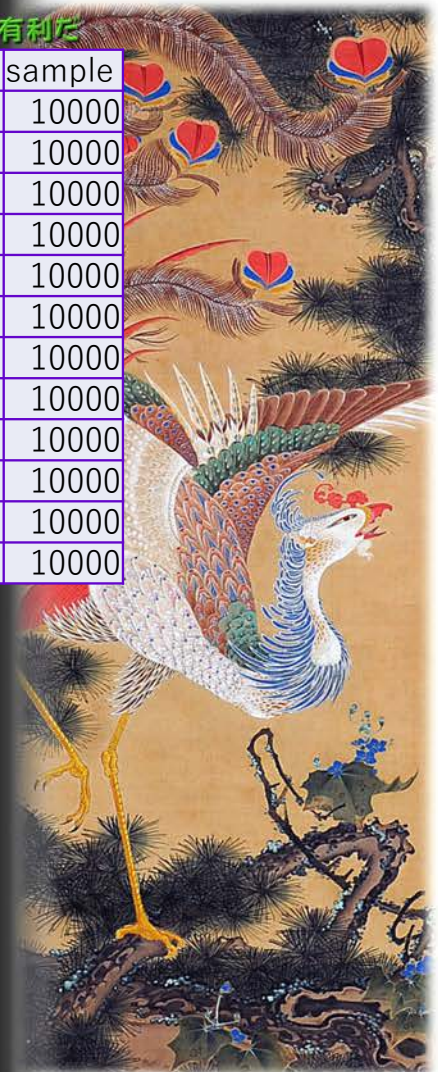
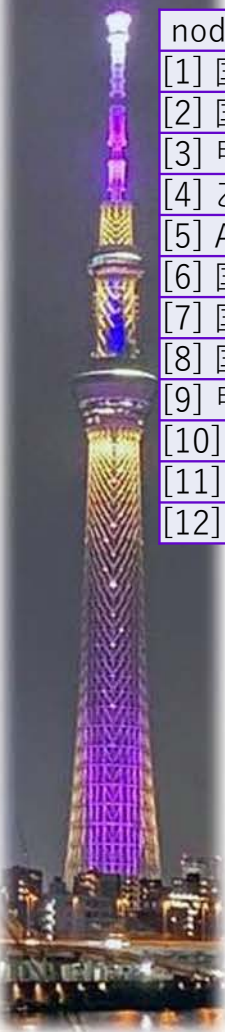
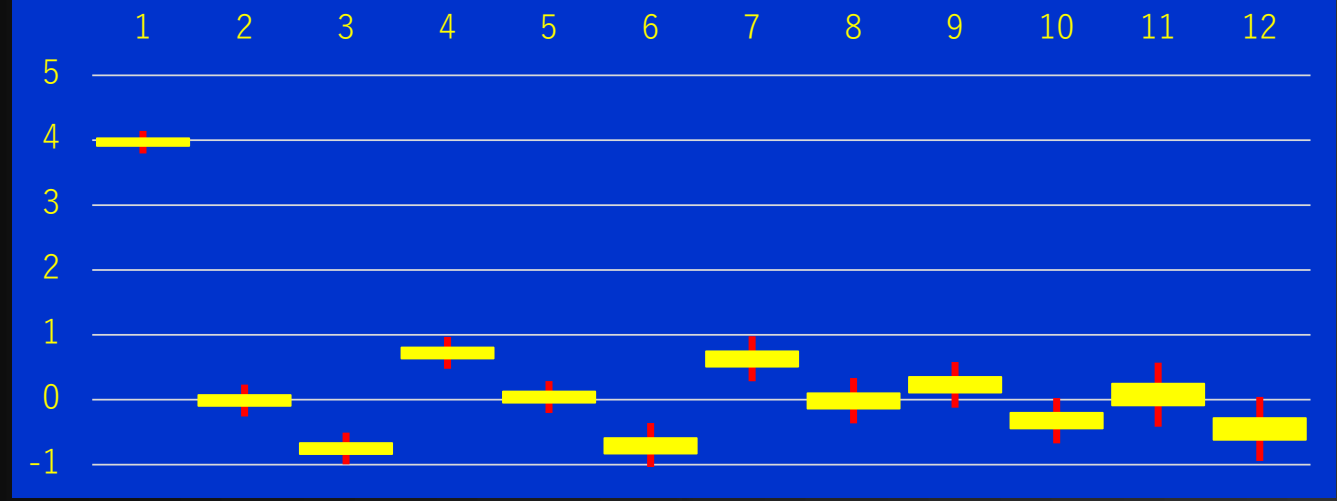
研究課題：裁判でのAI支援の有無 × 国内・国際取引 × 合意管轄地

2. 分析結果：質問 管轄合意 [甲に有利だ ⇔ 乙に有利だ]

鳳凰図
(伊藤若冲)

1 2 3 4 5 6 7
甲に非常に有利だ 甲に有利だ やや甲に有利だ どちらとも言えない やや乙に有利だ 乙に有利だ 乙に非常に有利だ

node	mean	sd	MC error	2.50%	median	97.50%	start	sample
[1] 国内・中間・AI無し：参照点	3.97	0.08813	8.51E-04	3.796	3.969	4.141	11001	10000
[2] 国際（主効果）	-0.00964	0.1244	0.001303	-0.2558	-0.00887	0.2361	11001	10000
[3] 甲社地（主効果）	-0.7504	0.1247	0.001362	-0.9964	-0.7502	-0.5072	11001	10000
[4] 乙社地（主効果）	0.7204	0.1241	0.001134	0.477	0.7206	0.9618	11001	10000
[5] AI有り（主効果）	0.04072	0.126	0.001188	-0.204	0.03904	0.2852	11001	10000
[6] 国際・甲社地（2交互作用）	-0.7115	0.1764	0.001894	-1.06	-0.7106	-0.365	11001	10000
[7] 国際・乙社地（2交互作用）	0.6284	0.1757	0.001657	0.2877	0.6289	0.9735	11001	10000
[8] 国際・AI有り（2交互作用）	-0.01942	0.1764	0.001762	-0.3645	-0.02071	0.327	11001	10000
[9] 甲社地・AI有り（2交互作用）	0.2301	0.1785	0.001949	-0.1185	0.2304	0.5856	11001	10000
[10] 乙社地・AI有り（2交互作用）	-0.3207	0.1793	0.001702	-0.6712	-0.3177	0.03378	11001	10000
[11] 国際・甲社地・AI有り（3交互作用）	0.08028	0.2485	0.002579	-0.4049	0.07974	0.5717	11001	10000
[12] 国際・乙社地・AI有り（3交互作用）	-0.4502	0.2514	0.002361	-0.9423	-0.4475	0.04012	11001	10000



研究課題：裁判でのAI支援の有無 × 国内・国際取引 × 合意管轄地

2. 分析結果：質問 管轄合意 [甲に有利だ ⇄ 乙に有利だ]

鳳凰図
(伊藤若冲)

1 2 3 4 5 6 7
甲に非常に有利だ 甲に有利だ やや甲に有利だ どちらとも言えない やや乙に有利だ 乙に有利だ 乙に非常に有利だ

node	mean	sd	MC error	2.50%	median	97.50%	start	sample
[1] 国内・中間・AI無し：参照点	3.97	0.08813	8.51E-04	3.796	3.969	4.141	11001	10000
[2] 国際 (主効果)	-0.00964	0.1244	0.001303	-0.2558	-0.00887	0.2361	11001	10000
[3] 甲社地 (主効果)	-0.7504	0.1247	0.001362	-0.9964	-0.7502	-0.5072	11001	10000
[4] 乙社地 (主効果)	0.7204	0.1241	0.001134	0.477	0.7206	0.9618	11001	10000
[5] AI有り (主効果)	0.04072	0.126	0.001188	-0.204	0.03904	0.2852	11001	10000
[6] 国際・甲社地 (2交互作用)	-0.7115	0.1764	0.001894	-1.06	-0.7106	-0.365	11001	10000
[7] 国際・乙社地 (2交互作用)	0.57	0.1657	0.001657	0.2877	0.6289	0.9735	11001	10000
[8] 国際・AI有り (2交互作用)	-0.3645	0.1762	0.001762	-0.3645	-0.02071	0.327	11001	10000
[9] 甲社地・AI有り (2交互作用)	-0.1185	0.1949	0.001949	-0.1185	0.2304	0.5856	11001	10000
[10] 乙社地・AI有り (2交互作用)	-0.6712	0.1702	0.001702	-0.6712	-0.3177	0.03378	11001	10000
[11] 国際・甲社地・AI有り (3交互作用)	-0.4028	0.2483	0.002579	-0.4049	0.07974	0.5717	11001	10000
[12] 国際・乙社地・AI有り (3交互作用)	0.4502	0.2514	0.002361	-0.9423	-0.4475	0.04012	11001	10000

(1) 主効果

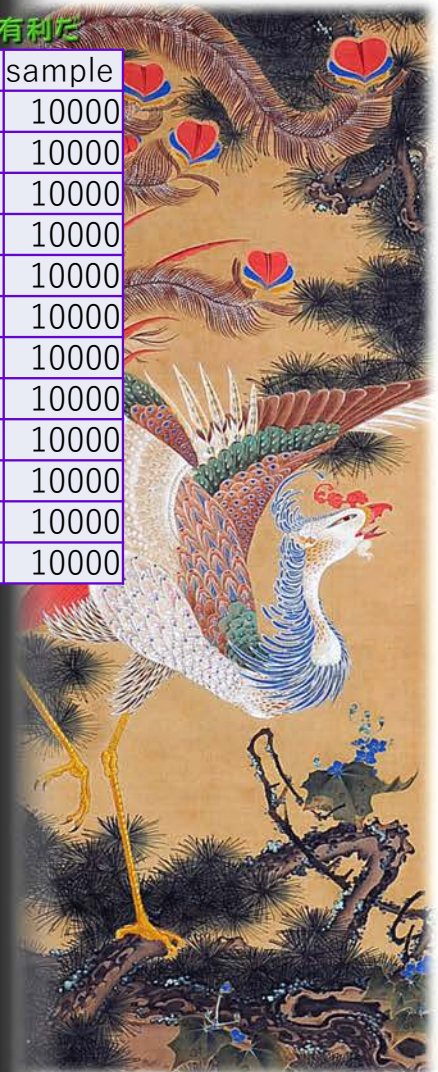
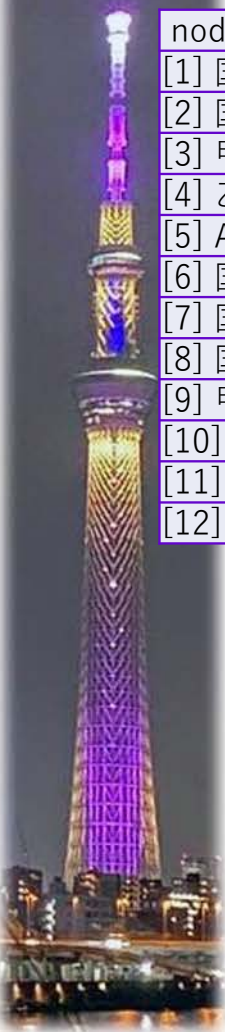
- ★ 国内 ⇄ 国際: 効果有り
- ★ 中間 ⇄ 甲社地: 効果有り
- ★ 中間 ⇄ 乙社地: 効果有り
- ★ AI無し ⇄ AI有り: 効果なし

(2) 交互作用2

- ★ 国内・中間地 ⇄ 国際・甲社地: 効果あり
- ★ 国内・中間値 ⇄ 国際・乙社地: 効果あり
- ★ 国内AI無し ⇄ 国際AI有り: 効果なし
- ★ 中間地・AI無し ⇄ 甲社地・AI有り: 効果あり
- ★ 中間地・AI無し ⇄ 乙社地・AI有り: 効果あり

(3) 交互作用3

- ★ 国内・中間地・AI無し ⇄ 国際・甲社地・AI有り: 効果あり
- ★ 国内・中間地・AI無し ⇄ 国際・乙社地・AI有り: 効果あり



Tokyo SkyTree
Photo by
Takahashi Mitsuko



研究課題：裁判でのA I 支援の有無 × 国内・国際取引 × 合意管轄地

2. 分析結果：質問 管轄合意 [甲に有利だ ⇔ 乙に有利だ]

1 2 3 4 5 6 7
 甲に非常に有利だ 甲に有利だ やや甲に有利だ どちらとも言えない やや乙に有利だ 乙に有利だ 乙に非常に有利だ

鳳凰図
(伊藤若冲)



ヴァージョン記述	mean
[1] 国内・中間・A I 無し	3.97
[2] 国内・中間・A I 有り	4.011
[3] 国内・甲社地・A I 無し	3.22
[4] 国内・甲社地・A I 有り	3.49
[5] 国内・乙社地・A I 無し	4.69
[6] 国内・乙社地・A I 有り	4.41
[7] 国際・中間地・A I 無し	3.96
[8] 国際・中間地・A I 有り	3.982
[9] 国際・甲社地・A I 無し	2.498
[10] 国際・甲社地・A I 有り	2.83
[11] 国際・乙社地・A I 無し	5.309
[12] 国際・乙社地・A I 有り	4.56

Tokyo SkyTree
Photo by
Takahashi Mitsuko



研究課題：裁判でのAI支援の有無 × 国内・国際取引 × 合意管轄地

2. 分析結果：質問 管轄合意 [甲に有利だ ⇔ 乙に有利だ]

鳳凰図
(伊藤若冲)

1 2 3 4 5 6 7
甲に非常に有利だ 甲に有利だ やや甲に有利だ どちらとも言えない やや乙に有利だ 乙に有利だ 乙に非常に有利だ

ヴァージョン記述	mean
[1] 国内・中間・AI無し	3.97
[2] 国内・中間・AI有り	4.011
[3] 国内・甲社地・AI無し	3.99
[4] 国内・甲社地・AI有り	3.49
[5] 国内・乙社地・AI無し	4.69
[6] 国内・乙社地・AI有り	4.41
[7] 国内・中間地・AI無し	3.96
[8] 国内・中間地・AI有り	3.982
[9] 国際・甲社地・AI無し	2.493
[10] 国際・甲社地・AI有り	2.83
[11] 国際・乙社地・AI無し	5.31
[12] 国際・乙社地・AI有り	4.56

国内

- (1) 甲社地は甲社に有利だが、AI支援あると(3.49)、AI支援ない(3.22)よりも数値が4に近づき、有利さが減る。
 - (2) 乙社地は乙社に有利だが、AI支援があると(4.41)、AI支援ない(4.69)よりも数値が4に近づき、有利さが減る。
 - (3) 中間地はAI支援の有無にかかわらず、ほぼ4で有利不利がない。
- ★1+2+3 ⇒ AIがより中立的客観的なものと思われる？

国際

- (1) 甲社地は甲社に有利だが、AI支援あると(2.83)、AI支援ない(2.5)よりも数値が4に近づき、有利さが減る。
 - (2) 乙社地は乙社に有利だが、AI支援があると(4.56)、AI支援ない(5.31)よりも数値が4に近づき、有利さが減る。
 - (3) 中間地はAI支援の有無にかかわらず、ほぼ4で有利不利がない。
- ★1+2+3 ⇒ AIがより中立的客観的なものと思われる？

国内・国際

国内よりも国際のほうが、有利不利の判断が強くなる。



Tokyo SkyTree
Photo by
Takahashi Mitsuko



日本法社会学会@成蹊大学

2022年05月21日(土) 9:30-12:30

ミニシンポジウム③

法的支援システムに基づく裁判は、
人々に受け容れられるか？

—— AI 支援による裁判と管轄の合意 ——

—— ご清聴を、ありがとうございました！ ——



明治大学法学部
太田勝造 (OTA Shozo)
e-mail: sota@meiji.ac.jp

鳳凰図
(伊藤若冲)

